

神奈川県学校農業クラブ連盟「家畜審査競技会」が開催されました

7月27日（月）、神奈川県学校農業クラブ連盟主催の「家畜審査競技会」が、当所の牛舎で開催されました。この競技会は授業やクラブ活動を通して学んだ家畜審査技術を競うもので、県立相原高等学校および中央農業高等学校の生徒23名が、乳牛と肉牛の2部門に分かれて参加しました。

家畜には、品種により体型や体格などの優劣を客観的に定めた審査基準があり、それに基づいて順位付けを行います。防疫服を着用した生徒たちは、暑さに負けずに真剣に牛と向き合い、遠くから眺めて全体的に体型を評価したり、触って皮膚の感触を確かめるなど、熱心に審査に取り組んでいました。

競技終了後には、審査員を務めた普及指導員が各家畜の体型の特徴や序列について解説を行いました。審査員が付けた順位と近いほど高得点となり、最優秀賞と優秀賞を受賞した生徒が表彰を受けました。

なお、今年度は全国大会は開催されないため、関東大会への選出はありませんでした。

今後も畜産技術者育成のため、本取組を継続支援していきます。

当所は、競技会用の家畜の準備、審査問題の出題、競技後の講評等を担当しました。

